

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/01号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FOMC & GDPでゴールド急騰

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



先週のこのレポートでゴールドは底を打ったのではないかと書きましたがそれが正しかったようです。木曜日早朝の注目のFOMCは市場予想通り0.75%の利上げという形になり、これはすでに折り込み済みで、逆にゴールドの買い戻し、ドルの売り戻しとなり、ゴールドはショートカバーがそれから続いて行くという一週間になりました。それに加えて日本時間では同日の午後9時半発表の米GDPが二四半期連続のマイナス成長であるマイナス0.9%と発表され（第一四半期はマイナス1.6%）、FRB議長がリセッションとは考えていないと、そのFOMC後の会見で述べていたその半日後にこのGDPが発表され、FRBの見方にかかわらず、マーケットでは、二四半期連続のマイナス成長は事実上の「リセッション」という認識からのさらなるドル売り、米国債買い（金利低下）、そしてゴールド買いという流れになりました。ゴールドは1766ドルと3週間以上ぶりでの高値引けとなりました。ゴールドは先週の安値1683ドルから80ドル以上の上げとなり、ドルインデックスは二週間前の109.275から105.828と3%以上の下げとなり、ゴールドショートとドルロングのポジションのカバーが大々的に入ってきています。やはりコモディティの売られ過ぎが修正される形です。ドル円も二週間前の139円台から一時132円台まで急落、一週間の引けは133.20で終わり、円建てのゴールドはこのゴールドの急騰とドル円の急落がちょうど相殺する動きとなり、大きな動きとはならず、7600円を中心とした比較的狭いレンジでの動きに終始しました。円に関しては特にドルと円の金利差というファンダメンタルズを考えると基本的には円安の流れは変わらないと考えます。ゴールドはリセッション入りからの買いとこれまでのショートのカバーしばらく続くでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

ゴールド以外の貴金属-PGM6

2. プラチナの需要

a. 自動車触媒

プラチナの需要の約4割は自動車触媒に使われます。PGM（白金族：Platinum Group Metals）の最大の需要分野がこの自動車触媒であり、パラジウムの需要の8割が自動車の触媒として使われています。そのためにプラチナ、パラジウムそしてロジウムといったPGMは、自動車の売上が直接のその需要に大きな影響をもってきます。現在世界中で走るガソリン車及びディーゼル車は三元触媒により、排気ガスからの窒素酸化物や一酸化炭素など有害物質を触媒の酸化還元反応により、窒素や水、二酸化炭素などの無害な物質に変換して排出するという仕組みを装備しています。この触媒として使われるのがPGMなのです。EVでは排気ガスは出ないのでこの触媒は不要となりますが、内燃機関車の環境規制は厳しくなる一方で、現在は一台あたりのPGM使用量は増加を続けています。

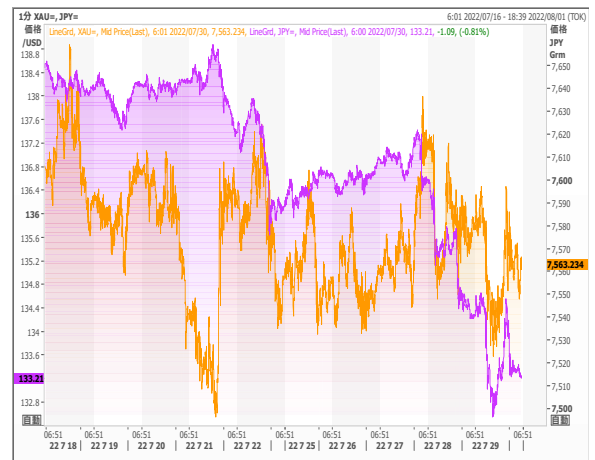
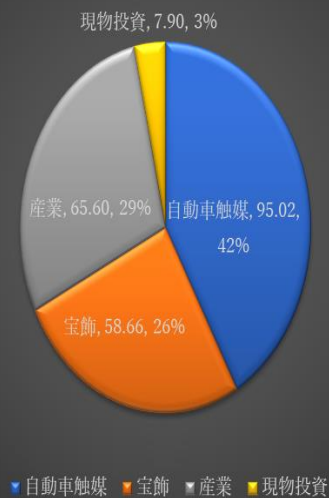


Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド

2022年プラチナ需要(227.18トン)



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

